

埼玉医科大学病院ニュース

第74号



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

座右の銘

医師として大切にしていること
整形外科・脊椎外科 診療部長
門野 夕峰

ページ 3

こんな症状ありませんか？

ページ 4

私たちが大切にしていること
わたしの専門

ページ 7

アスリート通信

埼玉医科大学グループアスリートクラブ

ページ 8

基本理念

外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS

患者さんから選ばれる病院を目指し病院ニュースをリニューアルしました。名前も「ゆい」としました。患者さんと医療者を結ぶという意味を込めています。医療は患者さんと医療者との相互理解と信頼により成り立ちます。病院ニュースを、患者さんと医療者を結ぶ情報提供の一助としてご利用いただければ幸いです。



医師として大切にしていること

怪我をしたり、病気を患ったり、または身体が衰えたりすると、日常生活に不自由さを感じるようになります。痛くて整形外科を受診することが多いですが、本当に希望していることは、もとの生活を送りたいということだと思います。整形外科では痛みをとるなどして「身体の動き」を良くすることで、望むような生活が送れるようお手伝いをしています。

病院では、くすりを処方したり、手術をしたり、リハビリをしたりしますが、それだけでは十分とは言えません。患者さん自身がどのような状況かを理解して、良くするために何が必要かを考えることが大事です。患者さん、家族とも相談しながら、時には社会の助けも借りながら、もとの生活に戻ってもらいたいと考えています。日々変化する身体の調子を感じ取りながら、自分なりに生活を楽しんでください。

座右の銘

日々是精進

整形外科・脊椎外科 診療部長

かどの ゆうほ
門野 夕峰

プロフィール

東京都出身

東京大学医学部

日本専門医機構整形外科専門医

日本リウマチ学会専門医

こんな症状ありませんか？

関節の痛みや変形に悩まされていませんか？

股関節や膝関節の軟骨がすり減って痛みのために歩くことがつらくなることがあります。人工股関節や人工膝関節の手術を受けて、歩くのが楽になったという方が多くいらっしゃいます。肩や肘の軟骨がすり減って痛くて手を思うように動かさない方は、人工肩関節や人工肘関節の手術を受けて、肩や肘を動かすのが楽になったという方が多くいらっしゃいます。これらの診療は、関節グループの医師が担当しています。

人工膝関節（門野教授、伊澤講師、杉田助教ほか担当）

人工股関節（渡會講師ほか担当）

人工肩関節（坂口准教授ほか担当）

人工肘関節（門野教授、大村助教ほか担当）

手足がしびれて動かしにくかったり、背中が曲がって痛かったりして、悩まされていませんか？

背骨（脊椎）が変形して神経の通り道が狭くなると、上記のような症状がみられます。脊椎の手術を受けてから、歩きやすくなったり手足の動きが良くなったりして毎日の生活が楽になったという方が多くいらっしゃいます。

頸椎症性脊髄症、靭帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、骨粗鬆症性椎体骨折偽関節、脊柱側弯症、脊髄腫瘍などの診療を行っています。さまざまな手術方法がありますが、十分な検査を行ってから、それぞれの患者さんに最適な治療法を決定しています。

脊椎診（鳥尾教授、釘宮准教授、鈴木助教ほか担当）

膝や肩の動きで困っていませんか？

膝の靭帯や半月板を傷めると、スポーツ活動だけでなく日常生活も支障がでることがあります。靭帯を再建したり、半月板手術を受けたりして、スポーツ活動に復帰した方が多くいます。年齢によって肩周りの筋腱と傷めると、肩を挙げるのが難しくなります。肩の手術を受けて、肩を挙げるのが楽になって、もとの日常生活に戻れたという方が多くいます。

膝や肩の治療は、リハビリと手術を組み合わせながら行っています。

スポーツ診（坂口准教授、杉田助教ほか担当）

私たちが大切に していること

自然治癒力を尊重した治療

整形外科は体の動きに関係する臓器である「運動器」を扱う診療科です。当科では、”Your Happiness is Our Happiness” をモットーに患者さん中心の診療を行っています。

1. 人間に本来備わっている自然治癒力を尊重した治療を行っています。

当科のシンボルマークの上部には、ラテン語で“ナートゥーラ・サーナト、メディクス・クーラト”と記されています。これはヒポクラテスの時代から伝わるギリシアの格言で、「自然の力が治癒を導く、医術はそれを手助けするに過ぎない」という意味です。若年者の変形性股関節症に対する寛骨臼回転骨切り術は、一生痛みのない生活を送ることを可能にしてくれます。



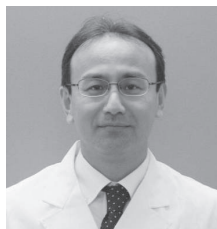
2. 整形外科で扱うすべての外傷や疾患に対応しています。

骨関節、脊椎、手外科、スポーツ医学、小児整形、足の外科などの専門家を備え、わずか 3km の距離にある国際医療センターの骨軟部組織腫瘍科および救命救急センターと連携しながら、患者さんのあらゆるニーズに対応しています。

こんな症状は私たちが診察します

手がこわばる、関節が痛い	門野 夕峰	伊澤 直広	岡部 裕一	
膝が痛い	門野 夕峰	伊澤 直広	杉田 直樹	
足の付け根が痛い	渡會 恵介	岡田 信彦	男澤 紘太	
肩が痛い	坂口 勝信	関端 浩士	伊藤 賢太郎	
背中が痛い、手足がしびれる	鳥尾 哲矢	釘宮 典孝	鈴木 景子	魚岸 誠司
スポーツでケガをした	坂口 勝信	杉田 直樹	関端 浩士	伊藤 賢太郎
手・肘が痛い	上原 浩介	大村 泰人	岡部 眞弓	
足が痛い、足が変形している	丸木 秀行			
骨粗鬆症	宮島 剛			

わたしの専門



門野 夕峰（かどの ゆうほ） 診療部長

教授，専門分野：人工関節、リウマチ外科

資格：日本専門医機構整形外科学専門医、日本リウマチ学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医

関節リウマチや変形性関節症に対する手術や、リウマチ性疾患に対する薬物治療をおこなっています。こうした困りごとがありましたら、相談してください。



鳥尾 哲矢（とりお てつや） 診療副部長

教授，専門分野：脊椎・脊髄外科、外傷外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本脊椎脊髄病学会指導医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

頸や腰など背骨の疾患にまつわる症状でお困りの方の治療を専門にしており、頸椎から腰椎まで様々な疾患に対する数多くの手術実績があります。手足の麻痺や、背骨の変形などは、手術治療で改善される方が大変多く、安心してご相談ください。

小児側弯症専門外来では装具療法から手術治療まで適切な治療をおこなっております。早期の診断が大変重要ですので、運動器検診等で背骨が曲がっているかもしれないと思った場合には早めにご相談ください。



宮島 剛（みやじま つよし）

教授，専門分野：骨代謝、スポーツ整形外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本骨粗鬆症学会認定医

骨粗鬆症は痛みなどの自覚症状はないのに骨折をしやすくなる病気で、検診などで発見される方が大半です。適切に治療すれば骨折は予防できますので、検診で判った方はもちろん、過去に些細なことで骨折した方、閉経後や中高年で骨粗鬆症の懸念がある方は、ぜひ検査を受けましょう。大学病院本院と川越駅近くにある埼玉医大かわごえクリニックの両方で、同じスタッフとコンセプトで診療していますので、便のよい方を受診してください。



釘宮 典孝（くぎみや ふみたか）

准教授，専門分野：脊椎・脊髄外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会指導医

背骨が痛い、曲がっている、手足がしびれる、などの症状がある方を治療しています。そのような症状でお困りの方はお気軽にご相談ください。



坂口 勝信（さかぐち かつのぶ）

准教授，専門分野：スポーツ整形外科、肩関節外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本体育協会スポーツドクター

スポーツに関連したケガや障害に対して診療し、特に肩関節に対する治療を専門としています。老若男女、競技問わず、スポーツ障害や肩痛でお困りの方はお気軽にご相談ください。



伊澤 直広（いざわ なおひろ）

講師，専門分野：人工関節、リウマチ外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本リウマチ学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本体育協会スポーツドクター

関節に痛みをかかえる患者さんの診察を専門にしております。関節リウマチの患者さんは、リウマチ膠原病内科と連携をとりながら、手術が必要な方に治療を行います。関節リウマチの手術は多岐に渡りますが、当科では肩、肘、手、股関節、膝、足、脊椎とそれぞれ専門の医師がおりますので、スムーズに最適な手術が受けられるように調整いたします。また、関節リウマチ以外では、肘や膝の人工関節手術を数多く行っておりますので、お困りの方はご相談ください。



渡會 恵介（わたらい けいすけ） 外来医長

講師，専門分野：股関節外科、人工関節、小児股関節

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本リウマチ学会専門医、日本人工関節学会認定医
日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

股関節は足の付け根にあるため、その痛みは日常生活の大きな支障となります。当科は伝統的に多くの股関節疾患を手掛けており、人工股関節や関節温存手術（骨切り術）などの治療を行っております。股関節痛でお悩みの患者さんは是非ご相談ください。



上原 浩介（うえはら こうすけ）

講師，専門分野：手外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本手外科学会専門医

手指や肘をけがした場合や痛い・変形している・思うように動かせないなどの症状がある場合には手外科外来受診をご検討ください。豊富な経験をもとに、患者さんに最も適した治療を提案させていただきます。



丸木 秀行（まるき ひでゆき）

講師，専門分野：足の外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

足を専門に診察、手術をさせていただいています。足とは足趾（あしのゆび）から足首あたりになります。足に関しての痛みや変形など、何でも気になることがありましたら足の専門診にお気軽にお越しください。



杉田 直樹（すぎた なおき）

助教，専門分野：スポーツ整形外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医

スポーツ外傷・障害や膝関節疾患を中心にスポーツ医学で得られた知見を一般整形外科にも活かし診療しています。



大村 泰人（おおむら やすと） 病棟医長

助教，専門分野：手外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本手外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

上腕から手指までの治療を専門に手術治療を含めた診療を行っています。特に手は専門性が高く、他の病院で治療の方法はないから付き合いってくださいといわれてしまうことも多い領域です。もし症状でお困りの様でしたらあきらめずに一度ご相談いただければお力になれることもあるかもしれませんので、気軽にご相談ください。



鈴木 景子（すずき けいこ）

助教，専門分野：脊椎・脊髄外科

資格：日本専門医機構整形外科専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

腰痛、下肢のしびれや痛み、上肢のしびれや運動障害などの症状を診察、治療しています。
投薬加療、運動療法、手術療法など、それぞれの症状に応じて治療を提案しています。
お困りの症状がある方はご相談してください。

整形外科・脊椎外科の情報・お問い合わせ

<http://www.saitama-med.ac.jp/uinfo/mseikei/>



アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

創部6年目となります。2020年11月に行われた東日本実業団駅伝では10位に入り、2021年元旦に行われたニューイヤー駅伝出場を果たしました。ニューイヤー駅伝では総合20位となり、初出場ながら好成績を収めました。

毎年行われるニューイヤー駅伝出場を目指す一方、フルマラソンにも出場する選手もあり、多種多様な選手が在籍しています。

競技を行う一方、医務部などの職場で業務を行っております。



写真上左から 松井選手 橋口選手
下左から 木樽選手 吉田選手

男子駅伝部新入部員

松井 尚希（まつい なおき）

出身大学：中央学院大学

所属部署：大学病院 医務部

日頃から応援くださる方々に元気を与えられるように結果で示していきます。応援よろしく願い致します。

橋口 大希（はしくち だいき）

出身大学：日本大学

所属部署：国際医療センター 事務部医務課

日々誠実に仕事を取組み、笑顔で明るく患者さんを接していきます。また、ニューイヤー駅伝を走り、チームに貢献していきたいと思います。

吉田 光汰（よしだ こうた）

出身大学：中央学院大学

所属部署：大学病院 医務部

仕事と競技を両立させ、ニューイヤー駅伝出場に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしく願い致します。

小樽 杏祐（こぐれ きょうすけ）

出身大学：国土舘大学

所属部署：大学事務部

埼玉医科大学グループの一員として、患者さんに元気を与えられるような走りをします。そしてニューイヤー駅伝出場、上位進出に貢献できるように頑張ります。応援よろしく願い致します。

整形外科医はチームドクターとしてアスリートクラブを支援しています。

—基本理念— 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心して質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心して質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利



毛呂駅前駐車場



救急センター前



埼玉医科大学病院外来



錬成館前駐車場

表紙：皮膚・排泄ケア認定看護師

松岡美木 看護師長

療養者とその家族にとって、良き支援者であり続けることを日々心がけております。

埼玉医科大学病院ニュース 第74号

発行日 令和4年8月1日

発行責任者 病院長 篠塚 望

編集発行 埼玉医科大学病院 医務部庶務課

TEL 049 (276) 1121 FAX 049 (294) 8222

www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

